

今年の梅に期待！ 梅振興会総会

第12回梅振興会の総会が、4月27日町改善センターホールで開催され、約180名の会員が参加されました。

最初に、市山正弘梅振興会会長が「今年は豊作が見込め、ようやく1000トンを突破できそうです。これは日頃の会員の努力の賜物だと思えます。しかし価格は下落することが考えられ、今後は資質の向上を図ることが大切です。」と挨拶しました。

その後協議で事業計画、予算案などを承認。続いてJAGグループ鹿児島特別栽培農産物認証制度について議論がなされ、減化学肥料栽培農産物として売り出していくことも承認されました。

また今回、和歌山県より東農園社長の東善彦氏が来場され、「現在、市場に中国産の南高梅が出回り始めています。これからはどのようにして中国産の梅に立ち向かっていくか？販売をどうやっていくのか？が大事になります。薩摩

町は今年が販売元年です。今後も九州の梅市場の顔として頑張ってください。」と激励されました。



▲中国産梅について説明をされる東社長

まちの将来は住民が決める 行政座談会始まる

町政及び合併問題について理解を深めてもらおうと市町村合併研究会報告会並びに行政座談会が、4月15日の下中福良自治公民館を皮切りに始まりました。

今年の行政座談会は、昨年に引き続き、広域行政の状況等の説明を主とした市町村合併研究会の調査の報告を、町内全集落でおこなう予定となっています。

下中福良自治公民館では、中薩地域合併研究会の調査報告がスクリーン上に映し出され、紺屋一幸企画係長がその内容を詳しく説明しました。住民の方からは「他の合併パターンはないのか？」「町では推進会議や対策会議はおこなわれているのか？」など合併に対する積極的な質問が多く寄せられました。

行政座談会は、5月までに町内の全集落での説明を終え、質疑していただいた内容は今後の行政施策に生かされます。



▲市町村合併の情報をスクリーン上で説明

深水敬吾さん（広橋） 全国土地改良功労者 表彰受賞

3月27日東京で開催された第43回全国土地改良功労者表彰で、本町の深水敬吾さんが全国土地改良功労者表彰を受賞されました。

深水さんは、昭和58年より、土地改良区理事、同理事長を務められ、現在も県土地改良事業団体連合会理事を務められています。

またこれらの実績に加え、卓越した識見、積極的な行動

力などが高く評価され今回の受賞となりました。



▲県知事から表彰される深水さん

びっくろ箱



〔詩〕 高学年

求名小五年 下境田早希さん
六年生が卒業して
少し悲しかったけど
今度はわたしが高学年
悲しんでなんかいられない
いろいろ大変だけど
とてもつかれるけど
がんばらないといけない
なんだってわたしは
高学年なんだから

〔俳句〕

求名小五年 谷山功紀君
水がまし
サワガ二つこく
春の川
求名小五年 浜田千代さん
さくらちる
沢の季節へ
お引っこし
求名小五年 谷山愛美さん
さくらさか
風になびいて
花ふぶき